

のはら組便り

10月の様子と大事にしている事

涼しくなりつつも少し暑さもあったりと気持ちの良い日が多かった10月でしたね。お休みがちらほらいた9月から、6人みんなが揃う日が増え、とても賑やかな日々でした。歩く事が安定し、同じ公園を繰り返してきたので、子ども達はふれあい公園での行動範囲が広がり、保育士から離れて好きに動き回るようになりました。ボールを投げて保育士と楽しむ姿もあれば、自分で追いかけて楽しむ姿もあります。保育士の姿を真似てカップを持って葉っぱを入れてみたり、小石を入れたり。公園をぐるりと回って追いかけっこをしてきゃっきやと逃げ回ったりもしました。水道もまだまだ恋しく、じっと待ち続ける子もいます。「お水?出しますか?」と聞くと笑顔でうんと返事をくれます。「ちょっとだけですよ。」と少し出してあげるととても嬉しそうに水に手を伸ばしていました。水が出ていると気付くと水道に集まって来て取り合いになっています。水は涼しくなっても人気者です。帰りにベビーカーを公園入り口まで持って行き「そろそろ帰りますよ~」なんて声を掛けると集まってくれることもあります。無理にベビーカーには乗せず、ちゃんとお話しして自分から来てくれる事を待っています。

午後は午後の会をして斜面登りを楽しんでいます。午後の会でのお名前呼びは呼ばれると保育士の目を見て返事をしてくれます。手も上げてくれる子も増えました。斜面は登るだけでなく、巧技台に隠れていないないばあを楽しむこともあります。ばあー!と顔を上に上げたり、下を覗いたり。トンネルを潜って保育士にはばあー!と顔を見せて楽しむこともあります。

斜面はみんなが集まって登って滑ってでケンカになることもあります、上手く保育士が入ることで楽しく斜面登りが出来るようにしています。

バックを持ってお出掛けごっこをすることもあります。腕にバックを掛けてバイバーイと手を振って歩く姿は可愛いです。

くるくるチャイムや積み木に集中して遊ぶ事もあります。

絵本や手遊びも好きで、じっと見つめて楽しむだけから、手遊びは動きを少し真似てみる姿も見られています。机を叩いて楽しむ『大きなたいこ』はみんなが好きで、大きく叩いたり小さく叩いたりして盛り上がっています。まだ大きく小さくは月齢の高い子でないと難しいですが、笑顔で机を叩く姿は可愛いです。絵本も声を出したり指差しをしたり動きを真似たりしています。絵本や手遊びはやるだけ、読むだけではなく、一人一人の顔を見るなどを意識しています。保育士の楽しい、が伝わると子どもも自然と興味を持って来てくれます。「始めるので集まって下さい。」ではなく、子どもが興味を持って来る、行きたいと言う気持ちになる事が大事なんです。

10月半ばを過ぎると子ども達の行動範囲と共に、動きのスピードが上がってきました。まだまだ何が危険なのか、と言う事を知らない月齢です。我々保育士は子どもの動きに制限をしない環境作りをし、目配りをしながら子どもの興味、成長の妨げにならない保育を心掛けたく思います。

午後にパンツでの生活をしている子が半数います。お洗濯いつもありがとうございます。まだまだおまるでの成功も少ないですが、体験が必ず実になります。出てしまった事を気持ち悪いと感じ表情に出る様になり紙パンツだけだった時よりも変化は少なからずともあります。生活の中で自然とおまるでの排泄が身について行きます。暖かく見守って頂けると嬉しいです。



←のはらさんがいつも午後に遊んでいる斜面、巧技台です。
奥に斜面をつけています。色々な組み合わせが出来ますので、月齢に合わせて斜面を低くしたりも出来ます。

11月のねらい

- ・秋を感じ、落ち葉や木の実を見つけて拾い集め楽しむ。
- ・自分の持ち物を覚え、着替えや片付けを保育士としようとする。
また、自分で行おうとする。
- ・言葉数が増え、保育士とのやり取りを楽しむ。

11月の絵本・歌・手遊び

- ・いないいいばあ・のせてのせて・もうねんね
- ・きんきんきれいな秋の空・おおきな栗の木の下で
- ・コオロギ・どんぐり